

氏(千葉県立保健医療大学)について報告された。以後、坂本氏には理事会に陪席し事業活動に従事しており、議決権を有する指名理事とするため、議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって原案どおり承認された。

第4号議案 名誉会員推戴について

議長より、本学会の名誉会員選出に関する規程に基づき、令和3年第1回理事会にて選出された豊田百合子氏について議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって原案どおり承認された。

第5号議案 第20回学術集會長の選任

議長より、令和3年度書面理事会にて第20回学術集會長に山田緑先生(共立女子大学)が承認されたことが報告され、議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって原案どおり承認された。また、山田緑第20回学術集會長より挨拶がなされた。

【 報告事項 】

(1)令和2年度定時社員総会報告

議長より、資料をもとに報告事項について説明がなされた。

(2)総務報告

齊藤奈緒総務担当理事より、資料をもとに、標記報告事項について以下の説明がなされた。
令和2年度末の会員数は、個人会員 1,265名、賛助会員1名であり、前年同時期より103名減少した。
なお、定款第12条により、来年7月末には会費を2年間滞納した会員は自動的に資格を喪失する。

(3)理事会報告

議長より、資料をもとに、令和2年度の理事会開催状況について報告がなされた。

(4)令和3年度事業計画・予算

各委員長より、資料をもとに、標記報告事項について以下のとおり報告がなされ、はじめに令和2年度の事業計画について、各委員長より以下の通り報告がなされた。

1)学術委員会

1. 循環器病に関わる看護職者の知識の向上に資する教育セミナーの開催

(1) ZOOM ウェビナーを活用したオンラインセミナーの開催

・年2回 / 2021年11月、2022年6月を予定

・今年度は対象を区分けせず、幅広く循環器看護に関する知識の獲得を目指す内容とする

(2) 次年度に向けてセミナー内容の体系化の検討(クリニカルラダーレベルに合わせた内容など)

オンラインセミナーの継続の検討(コロナが終息した状況下でどのようなセミナー開催方法が適切か)

2. 海外の循環器看護に 関連する会との交流

(1)GCNLF:The Global Cardiovascular Nursing Leadership Forum への参加

(2021年10月頃開催)

(2)ACNAP:Association of Cardiovascular Nursing & Allied Professions への参加

(2022年6月頃開催)

(3)上記交流内容を会員へ広く周知する(学術集会やホームページの活用)

3. 循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた検討

(1) 循環器看護の定義の作成

2) 学会誌編集委員会

1. 日本循環器看護学会誌年2回

第17巻第1号,第17巻第2号の発行、第18巻第1号の発刊準備

2. 電子投稿システム・査読システムの運用の評価と改善(継続)

3. 専任査読委員体制強化(継続) テーマ、研究方法論 分析手法等の専門性

4. 投稿原稿の活性化へ向けての対策の検討(継続)

・第18回学術集会での委員会セミナー(投稿論文作成や査読の受け方等)

・投稿規定(投稿者の条件、著作権等)の検討

・学会誌オンライン化へ向けた具体的検討

3) 政策・診療報酬委員会

1. 2024年度診療報酬改定にむけて循環器看護分野からの医療技術、診療体制等についての提案準備(緩和ケアに関する評価等)”

2. 医療保険に関する外部機関への会議等の出席、および渉外(看護系学会社会保険連合等)

3. 政策に反映するためのデータ蓄積についての検討

4) 広報委員会

1. 学会ホームページ、会員専用コンテンツでの充実

会費納入状況、動画配信等の改訂と維持作業

2. 会員の研究・臨床実践活動に関するホームページの改訂

研究助成の募集と実施状況、研究報告の開示等

3. ホームページへのアクセス増加のためのホームページ改訂

スムーズな情報提供と会員からの意見や要望を取り込むシステムの検討と実施

4. ニュースレターの発行

購読されるためのシステム作り

5) 倫理委員会

1. 申請のあった研究に対して、規定に基づき倫理審査を行う

2. 個人情報保護に関する問題が生じた場合に対応を行う

3. 本学会の研究に関する「利益相反指針」を運用する

4. 学術集会活動における「利益相反指針」の細則を作成し、運用する

5. 一般社団法人日本循環器看護学会倫理綱領に関する問題が生じた場合に対応を行う

6) 国内交流委員会

1. 本法人の国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流

(1) 関連法人・学会・研究会とのジョイントシンポジウムの企画、およびジョイントシンポジウム開催の承認、座長の推薦等を行う

(2) 新たな関連法人・学会・研究会とのジョイントシンポジウム開催後の座長、演者の意見のもとに今後の交流について検討し、問題が生じた場合は、直ちに委員会で検討し、解決を図る

2.関係諸団体との本法人の窓口

7)選挙管理委員会

1. 法人第4期における選挙にむけた計画
理事WEB選挙の実施
2. 2022年度選挙結果報告と承認

8)総務委員会

1. 本会事業見直しに伴う委員会組織・業務の整理および各委員会の活動支援、調整
2. 理事会、社員総会、会員総会の運営補助
3. 会員獲得・会員情報管理に関する事業
4. 規定類の評価・見直し
5. 若手研究者の研究助成事業の実施・評価
※年間を通じて、会員ニーズ調査に取り組む

事業計画の報告に続き、令和3年度予算案について齊藤総務委員長より、収入 25,638,000 円、支出 27,878,070 円、収支差額 2,240,070 円、の教育セミナーの WEB 開催に伴う参加費減額による収入減とホームページリニューアルの支出による赤字予算との説明がなされた。また、各委員会の予算案についても報告が行われた。

(5)規定の変更について

令和2年度に変更改訂、理事会承認を得た規程・細則の内、規程の改訂要点について報告された。細則・規定の変更点は以下の通り。

1. 代議員選出に関する規程

今後も WEB 選挙の実施の可能性があるため、開票方法の改訂および誤記の修正を行った。

2. 役員(理事及び監事)選出に関する規程 (新旧対照表を参照)

これまで、選挙によって本会の最大理事数が選出されること、新役員承認後の第1回理事会での理事長選出となるため、「新理事長」が指名理事を選出できない現状であった。時勢に合わせた本会の事業活動や運営を行えるためには、指名枠が必要であることを確認した上で、新理事長が指名理事を選出し、社員総会で承認できるように改訂した。

3. 教育セミナー開催に関する内規

参加費、運営補助者に関して、実際の運営に即した記述にするための追記および改訂を行った。

4. 専任査読委員に関する細則の改訂

学会誌編集に伴う査読について、現状の専任査読委員だけでは難しい状況が多くなっている。そのため、専門的な査読が必要な場合に、学会員以外にも査読依頼を行えるよう、細則及びガイドライン等を変更した。

5. 利益相反の指針・細則について

利益相反申告が必要な対象者の範囲および申告内容について見直し、変更した。

(6)第 18 回循環器看護学会 学術集会報告

前田学術集会長より、資料をもとに、開催直前の報告がなされた。

【第 18 回学術集会】

テーマ「循環器看護の“シンカ”を問う - 進化 深化 真価 -

- ・ 会 期:2021年10月9日土曜日-10日日曜日
 - * 2021年10月9日土曜日-31日日曜日(オンデマンド配信)
- ・ 開催方法:完全 WEB
- ・ 参加登録数、演題登録数:10月1日時点 参加登録数 712 名 演題登録数 87演題

<プログラム>

- ・ 基調講演 井部俊子先生 「循環器看護学会の原点」
- ・ 特別講演 1 松山大耕先生 「禅僧から学ぶ人生会議(ACP)について」
- ・ 特別講演 2 亀井智子先生 「テレナーシングの進化・深化・真価」
- ・ 会長指定講演 西田元彦先生 「笑いと免疫力」
- ・ 教育講演 1 池松裕子先生 「循環器看護領域の海外最新研究レビュー」
- ・ 教育講演 2 佐藤幸人先生 「10 年経過した我が国の心不全チーム医療:その概念と理論」
- ・ 教育講演 3 水野篤先生 「循環器疾患患者への行動経済学を活かした指導」
- ・ 教育講演 4 猪又孝元先生 「心不全治療 up to date」
- ・ シンポジウム 4 枠、パネルディスカッション 2 枠
- ・ 人工臓器学会共同開催シンポジウム
- ・ 口演、WEB ポスター発表
- ・ 循環器病研究振興財団研究発表会
- ・ 最優秀演題審査会
- ・ 交流集会
- ・ その他(共催セミナー、教育セミナー)

3 その他

(1)第19回学術集会長 ご挨拶

瀬戸学術集会長より、第19回学術集会について説明された。

【第 19回学術集会】

- ・テーマ:臨機応変
- ・大会長:瀬戸 奈津子(関西医科大学 看護学部・看護学研究科)
- ・会 期:2022年10月1日(土)・2日(日)
- ・会 場:枚方市総合文化芸術センター
 - ※申込しやすいよう QR コードの設置を行う予定。
 - ※演題登録を 2022 年3月15日(火)~6月20日(月)に設定

※プログラムについてはこれから具体的に企画を進める予定

- ・大ホール・小ホール共に飲食禁止のため、別館借用にてランチョンセミナーを企画予定
- ・理事会承認済みのジョイントセッション他、市民公開講座なども予定

※第18回学術集会プログラムへ告知を掲載予定。

(2) 会員総会の資料について

今年度も、COVID-19 拡大により学術集会が WEB 開催となったため、会員総会も WEB 開催とし、資料を一定期間、学会ホームページ(会員専用閲覧ページ)に公開する予定である。

以上により Web 会議システムを用いた社員総会は、終始異常なく、全ての議案が終了したため、議長は本総会の閉会を宣言した。

以上、議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

令和3年10月5日 一般社団法人日本循環器看護学会 定時社員総会

議 長 眞嶋 朋子 印

議事録署名人 池亀 俊美 印

議事録署名人 小泉 雅子 印